

学力特集号 ❁ 早鞆中だより

令和4年12月
北九州市立早鞆中学校
校長 小牧 成人

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

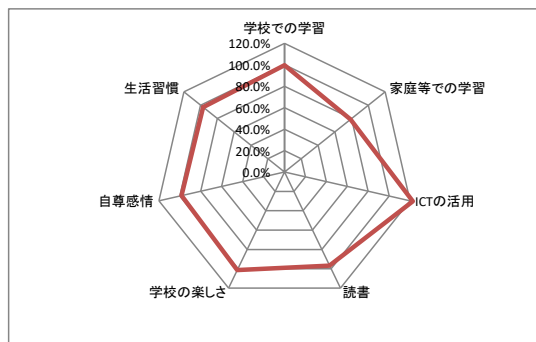
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	漢字の行書の読みやすい書き方を理解したり、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方はよく理解している。場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈したり、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことは課題である。	下回っている
数学	多数の観察や多数回の施行によって得られる確率の意味を理解している。筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することが課題である。	下回っている
理科	複数の脊椎動物外部形態の考察について共通点と相違点を分析して解釈することができる。水素を燃料として使うしくみについて分析して解釈できることが課題である。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしている時間が全国よりやや多い。家庭学習時間がその分、全国と比べて減少している。
- ・将来の夢や希望をもっている生徒は全国と同じくらいであり、人の役に立ちたいと考えている。それぞれの夢を実現させるために具体的な目標設定を行い、行動に結び付けさせることが必要である。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

話し合い活動や自分の考えを発表する機会等において、ICT機器を使いながら、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫させる授業展開を今後更に継続していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

多くの生徒が家庭学習に意欲的に取り組むことができるように、一生懸命に取り組んでいる生徒の家庭学習ノートを良い例として、廊下等に掲示していく。